

はじめに

特別支援教育が平成19年度に法的にも位置づけられ、本格的にスタートしています。特別支援教育を推進するためには、特別支援教育学校コーディネーター（以下コーディネーター）を指名し、校内委員会を設置するなど、組織的・計画的に学校が特別支援教育に取り組むことが大切です。

推進役となる各学校で指名されたコーディネーターの主な役割として、校内の関係者との連絡調整、関係機関との連絡調整、保護者との連携があげられ、各学校の特別支援教育に関わる窓口としての機能や、特別支援教育の理解や具体的な取組を学校全体で行うため、校内委員会で検討する際の先導役などを担うこととなります。

当教育センターでは、平成16年度から「特別支援教育学校コーディネーター養成研修会」を毎年度開催しており、この5年間で約900名（のべ人数）を養成してきましたが、現在、小・中学校で指名されているコーディネーターは、特別支援学級担任、養護教諭、通常学級担任、管理職（教頭）など様々で、経験年数についてもばらつきがあり、中には新たに指名され、「何をすればいいのか」「何から始めればいいのか」具体的なイメージがなく、不安を感じているコーディネーターもおられます。そうした状況をふまえ、「特別支援教育学校コーディネーターサポートブック」を作成することとなりました。このサポートブックは「今何ができるのか、どのような方法があるのか」をキーワードに、各学校で具体的に対応していくためのアドバイス（ヒント）を載せています。また、すぐに活用できるツールなども資料としてふんだんに盛り込み、コーディネーター経験の比較的浅い方だけでなく、多くの方に幅広く活用していただける内容となっています。

これまで当教育センターで作成しました「特別支援教育の理解Q&A 特別な教育的支援を必要とする子どもたち—LD・ADHD・高機能自閉症等の理解と支援—」と併用しながら、各地域の実情や学校の様々な条件、また、在籍している児童生徒の実態に合わせ、各学校で工夫して活用していただきたいと思います。

最後に、このサポートブックを今後更に改善していくために、皆様からのご意見をお寄せいただきますよう、よろしくお願いいたします。

高知県教育センター